

2019年9月18日

丸紅株式会社

FPSO チャーター事業向けプロジェクトボンドの発行について

丸紅株式会社(以下、「丸紅」)は、現在ブラジルで推進している FPSO*チャーター事業の 1 件について、関連会社を通じて、約 11 億米ドルのプロジェクトボンド(以下、「本プロジェクトボンド」)を海外資本市場で発行しました。また、この資金により金融機関からプロジェクトファイナンスで調達していた既存融資を期前弁済しました。

本プロジェクトボンドは、丸紅・三井海洋開発株式会社・三井物産株式会社・株式会社商船三井の 4 社が出資参画中の、ブラジル国営石油会社であるペトロブラス社がオペレーターを務めるブラジル沖合のイラセマ・スル鉱区向け FPSO(以下、「本 FPSO」)の長期チャーター事業における既存融資の借り換えを目的に発行されたものです。また本プロジェクトボンドは、FPSO チャーター事業向けに発行された、世界初の公募債です。

本 FPSO は、ペトロブラス社がオペレーターを務めるコンソーシアムと締結した、米ドル建て固定価格による 20 年間のチャーター契約に基づき、2014 年 10 月よりチャーターを実施しており、ブラジルにおける原油および天然ガス生産の約 4%を担う、同国を代表する FPSO の 1 基として順調に稼働しています。

丸紅は、FPSO チャーター事業を安定収益型事業と位置付け、現在ブラジルで 6 件、ガーナで 1 件推進しています。FPSO の建設資金は、これまで出資会社の自己資本および金融機関からのプロジェクトファイナンスにより調達してきましたが、FPSO の順調な稼働実績と収益の安定性を背景に、資本市場への直接のアクセスとなるプロジェクトボンドは、引き合いが旺盛な FPSO 事業の新規受注に向け、資金調達の多様性を広げ、資金効率を高める有効な選択肢となります。

丸紅は、多様な資金調達方法を活用しながら、今後も FPSO 事業に注力し、エネルギーの安定供給に貢献していきます。

*Floating Production, Storage & Offloading system (浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)

関連プレスリリース:2012年3月22日

ブラジル沖合プレソルト層下油田セルナンビ・スル*鉱区向け超大水深対応 FPSO 備船事業に丸紅、三井物産及び商船三井が参画

https://www.marubeni.com/jp/dbps_data/news/2012/120322b.html

*セルナンビ・スル鉱区は、イラセマ・スル鉱区に改称されました。



写真: イラセマ・スル鉱区で稼働中の“FPSO Cidade de Mangaratiba MV24”(提供: 三井海洋開発株式会社)

以上